

行田市の財政状況



田んぼアート米づくり体験事業

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づき令和8年1月1日から令和8年6月30日までの当市財政状況を公表します。

令和8年8月1日

行田市長

行 田 邦 子

当市では、市民の皆様に財政の現況を知っていただくため、毎年2回定期的にこの財政状況を公表しています。

今回は、令和7年度の決算と令和8年度第1四半期（令和8年4月1日～令和8年6月30日まで）の予算執行状況を中心にお知らせいたします。

面 積 67.49Km²

人 口 77,068人

世帯数 37,002世帯

＜令和8年6月30日現在＞

行田市告示第294号

令和8年8月1日

令和7年度 決算の状況

<一般会計>

【歳入の特徴】

◎市税の増

個人市民税の増などにより
103億5千万円 → 109億6千万円

◎国庫支出金の増

児童手当交付金の増などにより
61億2千万円 → 63億4千万円

◎地方交付税の増

普通交付税の増などにより
59億2千万円 → 60億9千万円

◎県支出金の増

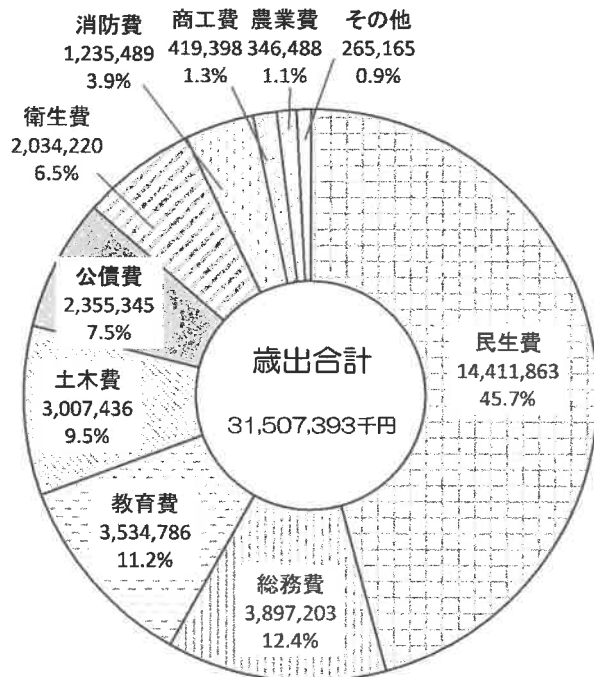
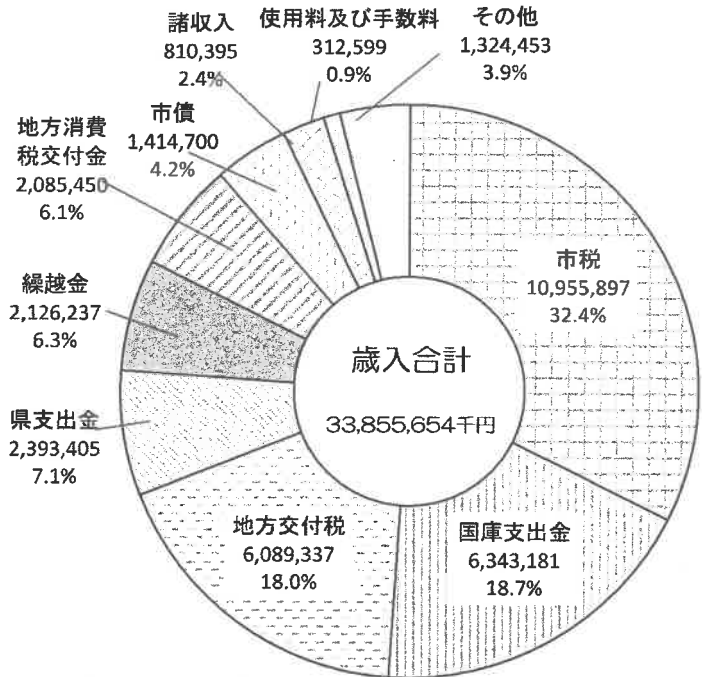
障害者自立支援給付費負担金の増などにより
21億6千万円 → 23億9千万円

◎地方消費税交付金の増

地方消費税の増収により
19億4千万円 → 20億9千万円

◎市債の増

緊急防災・減災事業債の増などにより
12億2千万円 → 14億1千万円



【歳出の特徴】

◎民生費の増

児童手当扶助費の増などにより
140億4千万円 → 144億1千万円

◎総務費の増

情報システム標準化移行業務委託料の増などにより
37億9千万円 → 39億円

◎教育費の増

総合体育館メイン及びサブアリーナ空調設備設置事業の増などにより
29億2千万円 → 35億3千万円

◎土木費の減

橋りょう修繕事業負担金（行田市駅跨線橋）の減などにより
33億6千万円 → 30億1千万円

◎公債費の減

元金の減により
24億4千万円 → 23億6千万円

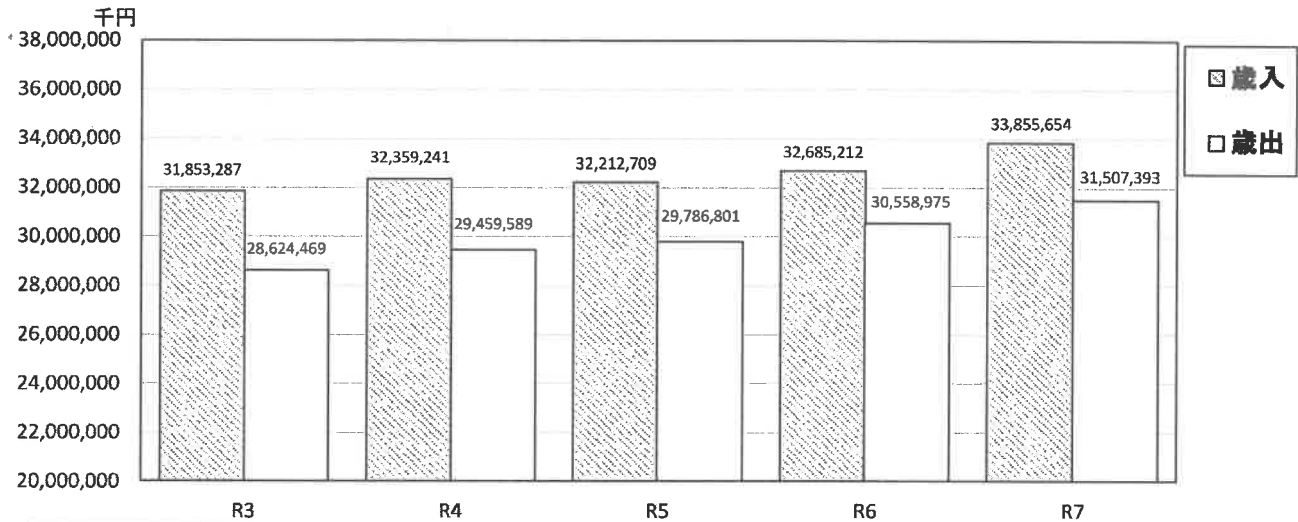
◎衛生費の増

行田羽生資源環境組合負担金の増などにより
17億9千万円 → 20億3千万円

【主な事業】（☆は物価高騰対策に要した経費です）

- ◎公共施設照明LED化事業…「行田市公共施設照明LED化基本計画」に基づき、施設における照明LED化を実施（工事：7施設、設計：8施設）
- ◎乗合型AIオンデマンド交通運行事業…AIを活用し、利用者の予約に応じた配車により効率的な輸送を行う乗合型の交通「うきしろ号」の運行を実施
- ◎さきたま古墳公園「子どもの遊び場」整備事業…様々な人の憩いの場となる「屋内型遊び場」及び「外遊び場」整備に向け、事業構想検討委員会を設置・開催
- ◎認可保育園（埼玉保育園）建替補助事業…認可保育園のうち埼玉保育園について、既存施設の老朽化に対応するため、建替工事に要する一部費用を補助
- ◎おうち子育て支援事業…未就園の0歳6ヵ月から3歳未満の子どもを対象に「こども誰でも通園制度」を実施 他
- ◎3歳未満児保育料無償化事業…3歳未満児の保育料無償化を実施
- ◎小動物（ペット）火葬棟整備事業…収骨室や待合室等を備えた小動物火葬棟を斎場敷地内に整備し、令和8年2月に運用を開始
- ☆水道基本料金無償化事業…物価高騰による負担増を踏まえ、水道料金のうち基本料金分（令和7年3～4月検針分、令和8年2～令和9年1月検針分）を免除
- ◎スマート農業等推進事業…市内農業者に対し、既存の生産方法を改善するためのスマート農業機器の導入及び農地集約集積のための畦畔撤去に係る経費を補助
- ☆プレミアム付商品券事業…物価高騰による負担増をふまえ、プレミアム付商品券の発行に係る費用の一部に対して補助
- ◎まちなかウォーカブル推進事業…秩父線行田市駅前広場の再整備による歩行者空間の向上を図り、交流・滞在を促す都市空間を形成するための工事等を実施
- ◎出水対策事業…埼玉県が行う沼川浸水対策重点地域緊急事業と連携し、西小学校校庭貯留工事を実施 他
- ◎消防車両更新事業…消防団南部第6分団・7分団に配備する消防ポンプ自動車を更新
- ◎学校再編事業…「再編後の学校の位置」や「新校開校に向けたスケジュール」などを示す「行田市義務教育学校設置に向けた再編計画＜個別編＞」を策定 他
- ◎体育施設管理運営事業…総合体育館メイン及びサブアリーナ空調設備等の設置や各学校等にスマートロックを導入 他

<歳入歳出決算額の推移>



【歳入の特徴】

令和7年度は前年度と比較し、繰越金では3億円の減、寄附金では9千万円の減少となりました。

一方で、市税は個人市民税がけん引し6億1千万円の増、児童手当制度の拡充が通年化したことなどに伴い国庫支出金は2億2千万円の増、障害福祉サービスの利用増に伴う給付費の増加などにより県支出金は2億3千万円の増加となりました。

これにより、歳入全体としては11億7千万円の増加となり、直近5ヵ年で最大の規模となりました。

【歳出の特徴】

令和7年度は前年度と比較し、土木費では橋りょう修繕事業負担金（行田市駅跨線橋）の終了などにより3億5千万円の減、消防費では消防車両更新事業費の減などにより1億円の減少となりました。

一方で、総合体育館メイン及びサブアリーナ空調設備設置事業の増などにより教育費で6億1千万円の増、児童手当制度の拡充が通年化したことなどに伴い民生費で3億7千万円の増、行田羽生資源環境組合負担金の増加などにより衛生費で2億4千万円の増となりました。

これにより、歳出全体としては9億5千万円の増加となり、直近5ヵ年で最大の規模となりました。

<市税の推移>



市税は、地方公共団体の歳入の根幹をなすものであり、住民の方に対して行政サービスを提供するために欠かすことのできない重要な財源です。

本市の市税総額は、年度によって多少の増減はありながらも、全体としては100億円を超える水準で推移しています。

令和7年度の市税は前年度と比較し、市たばこ税は販売本数減により1千万円減少したものの、給与所得及び営業等所得の増により所得割が増え個人市民税で4億9千万円が増加、新増築分が減失家屋減少分を上回ったことなどにより固定資産税で6千万円が増加したことなどから109億6千万円となりました。

<特別会計>

～特別会計とは？～

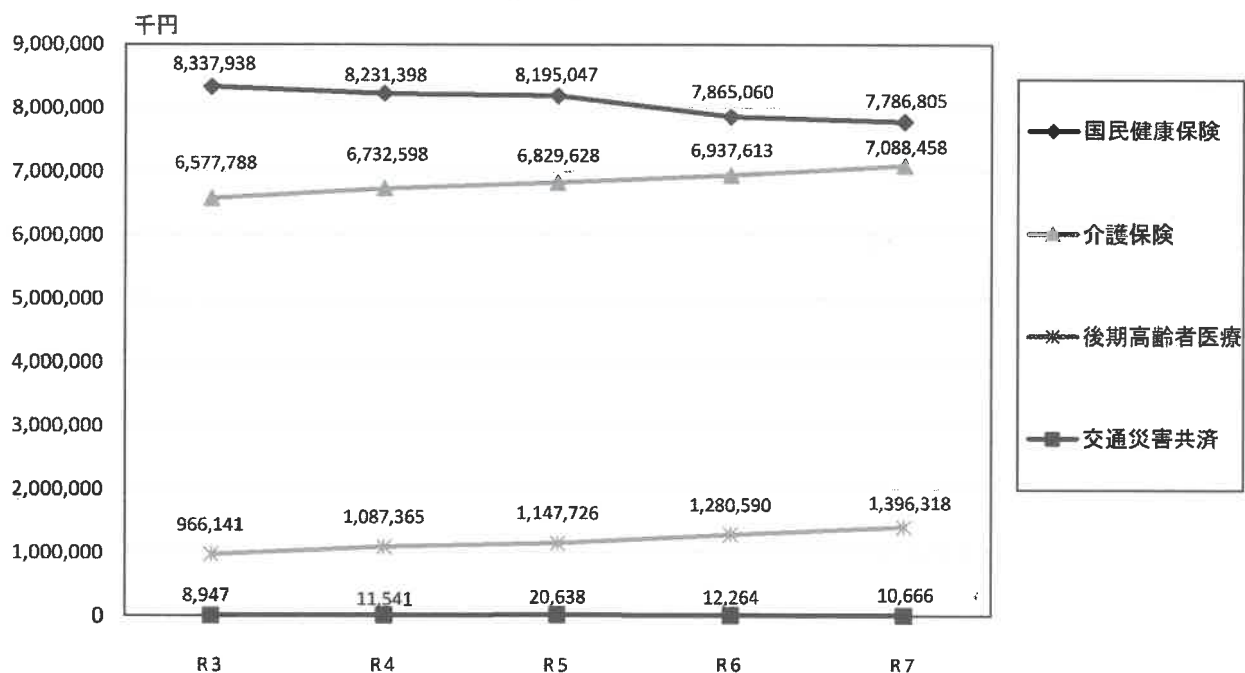
特定の事業をより円滑に進めるために、一般会計から分離して別に収支経理を行うもので、国の法律や市の条例によって設けることができる会計制度です。

(単位：千円)

会 計 名	歳入決算額	うち一般会計からの繰入金	歳出決算額	実 質 収 支
国 民 健 康 保 険 事 業	7,982,428	655,807	7,786,805	195,623
交 通 災 害 共 済 事 業	59,023	0	10,666	48,357
介 護 保 険 事 業	7,712,282	1,064,666	7,088,458	623,824
後 期 高 齢 者 医 療 事 業	1,518,238	287,069	1,396,318	121,920

実質収支とは、歳入歳出決算の差引額から繰越事業に充てる額を控除した実質的な翌年度への繰越額です。

【特別会計歳出決算額の推移】



小動物（ペット）火葬棟整備事業



総合体育館メイン及びサブアリーナ
空調設備設置事業

<市有財産の状況>

(令和8年3月31日現在)

区	分	土地面積 (㎡)	建物面積		
			木 造 (㎡)	非 木 造(㎡)	計 (㎡)
行政財産	本 庁 舎	5,212.87	7.92	7,020.71	7,028.63
	消 防 施 設	14,465.08	1,528.53	3,281.39	4,809.92
	そ の 他 の 施 設	56,150.76	165.60	5,660.07	5,825.67
	学 校	376,432.23	391.27	123,596.35	123,987.62
	公 営 住 宅	43,710.11	878.86	32,010.32	32,889.18
	公 園	559,909.27	1,409.76	7,772.43	9,182.19
	そ の 他 の 施 設	302,838.44	2,215.12	67,051.34	69,266.46
	計	1,358,718.76	6,597.06	246,392.61	252,989.67
普 通 財 産		184,742.80	4,419.73	10,541.92	14,961.65
合 計		1,543,461.56	11,016.79	256,934.53	267,951.32

※ 行政財産…行政上の用途・目的に供されるもので、売払いや交換等の処分が制限されている財産

- ・ 公用財産…専ら職員が仕事を行うために使う財産
(本庁舎、消防庁舎等)
- ・ 公共用財産…専ら住民の利用に供する財産
(学校、公園、公民館、図書館、総合体育館、コミュニティセンター、老人福祉センター等)

※ 普通財産…上記以外の財産

<基金の状況>

基金には、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるものと、特定の目的のために定額の資金を運用するものの2種類があります。本市では、令和7年度末現在で18の基金が、それぞれの目的に応じて設置されています。

今回はそのうちの主要な4つの基金の推移を掲載しています。

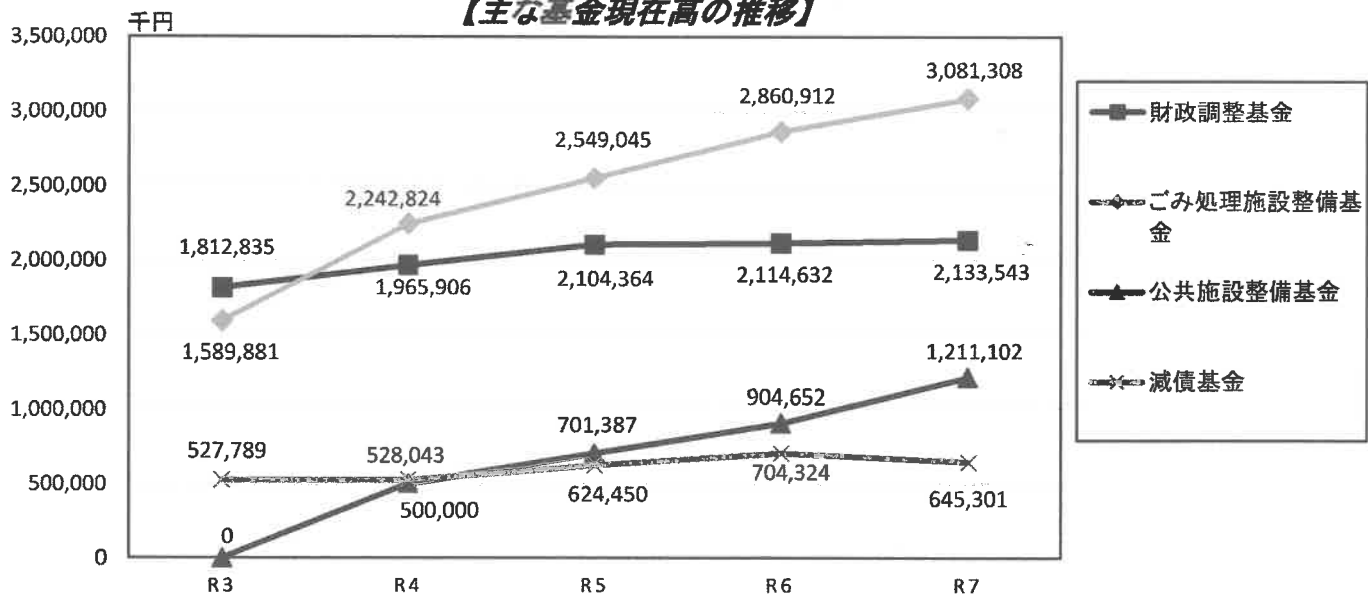
「財政調整基金」は、経済の不況などによる大幅な税収減や災害の発生による予想外の支出増等に備えるための基金です。

「減債基金」は、市債の償還に必要な財源を確保し、将来にわたり財政の健全な運営を確保するための基金です。

また、新ごみ処理施設の整備に要する経費に充てるため「ごみ処理施設整備基金」を、施設の老朽化等を受けた公共施設の整備に要する経費に充てるため「公共施設整備基金」を設置しています。

以上、4つの基金の現在高は下記のとおり推移しています。

【主な基金現在高の推移】

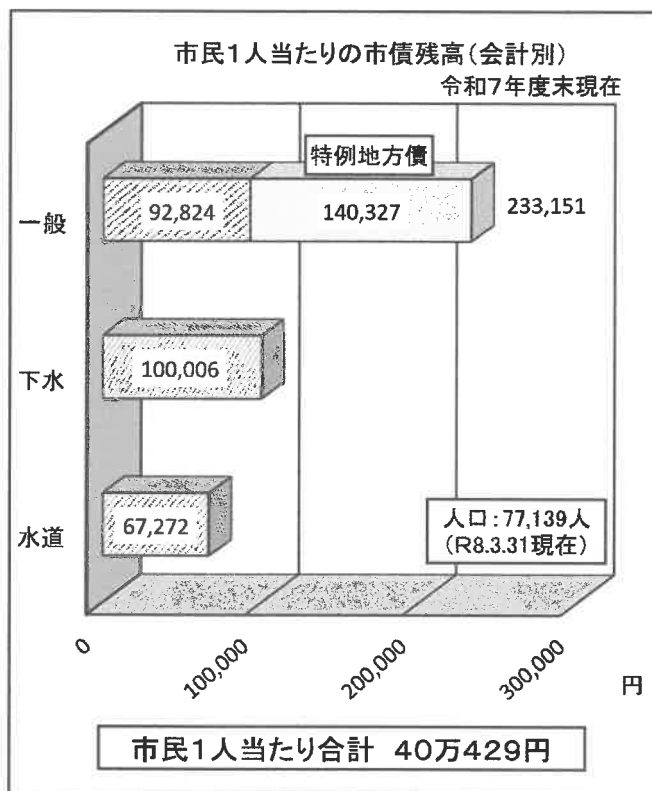
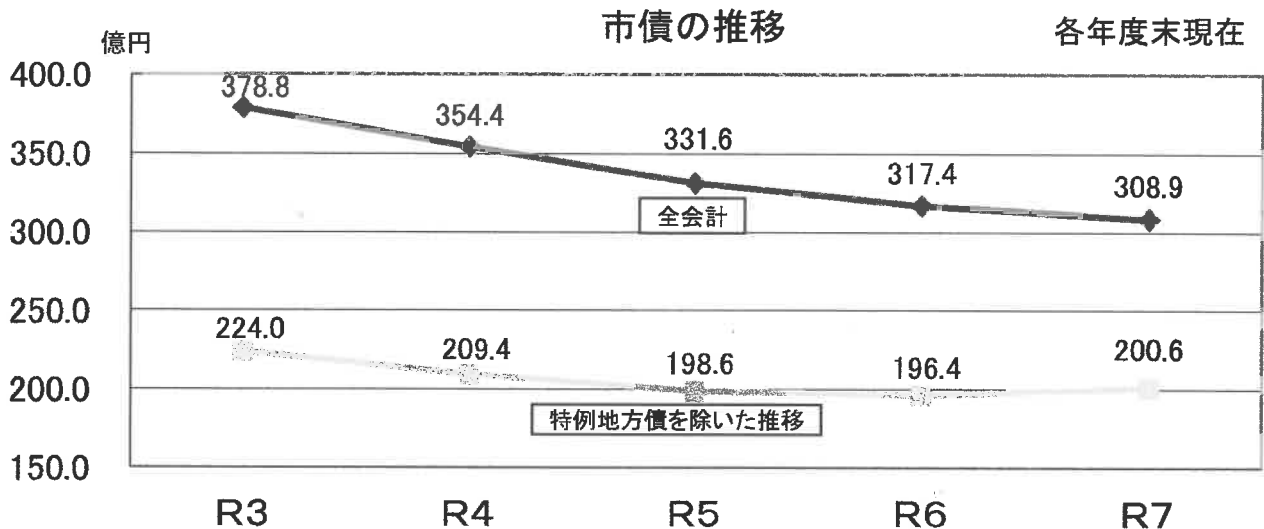


<市債の状況>

行田市の借金の状況～今の残高はどのくらい？～

市債は、道路や河川・公共施設の整備などを行うとき、国などから長期にわたって借入れるお金のことで、家計に例えると「借金」にあたります。また、市債には「特例地方債」という後年度の返済の際に全額または一定割合が交付税に上乗せされ、国から交付されるものもあります。

なお、令和7年度については、市債の返済額が新規発行額を上回ったため、市債残高は減少しています。



豆知識

ほかの市と比べた行田市の状況

○実質公債費比率

2.3%

(令和6年度決算)

県内市の平均 4.9%

早期健全化判断基準 25.0%

これは、市債の返済額に関する指標で低いほど良い指標です。

県内40市中4番目に位置しています。

市債は、世代間負担の公平性の確保という観点から、公共施設などの社会資本整備の財源として有効なものでありますが、その一方で、残高が増加すると、将来の公債費負担が増加し、財政構造の硬直化につながるため適切に管理していく必要があります。

一般会計債 目的別の内訳

区 分	令和6年度 末現在高 (A)	令和7年度 発行額 (B)	令和7年度元利償還額			令和7年度末残高		(単位:千円)	
			元金 (C)	利 子	計	差引現在高 (A+B-C) (D)	うち 旧南河原 村承継分	(D)の借入先別内訳	
								国からの借入	民間等(銀行 等)からの借入
1 総 務 債	427,070	16,700	116,781	2,447	119,228	326,989	0	0	326,989
2 民 生 債	295,334	99,300	56,221	1,248	57,469	338,413	0	0	338,413
3 衛 生 債	489,223	68,400	78,296	2,292	80,588	479,327	0	0	479,327
4 農 業 債	153,217	43,300	20,908	767	21,675	175,609	0	0	175,609
5 商 工 債	131,195	61,200	12,512	829	13,341	179,883	0	0	179,883
6 土 木 債	2,248,758	348,200	259,008	11,200	270,208	2,337,950	0	0	2,337,950
7 住 宅 債	62,147	27,000	4,014	526	4,540	85,133	0	0	85,133
8 消 防 債	414,379	105,000	104,875	2,185	107,060	414,504	0	0	414,504
9 教 育 債	2,549,316	645,600	372,391	11,068	383,459	2,822,525	0	80,147	2,742,378
10 減 税 補 填 債	19,078	0	15,576	15	15,591	3,502	0	3,502	0
11 臨時財政対策債	12,039,813	0	1,247,660	28,719	1,276,379	10,792,153	0	8,980,674	1,811,479
12 減 収 補 填 債	34,800	0	5,800	7	5,807	29,000	0	29,000	0
計	18,864,330	1,414,700	2,294,042	61,303	2,355,345	17,984,988	0	9,093,323	8,891,665

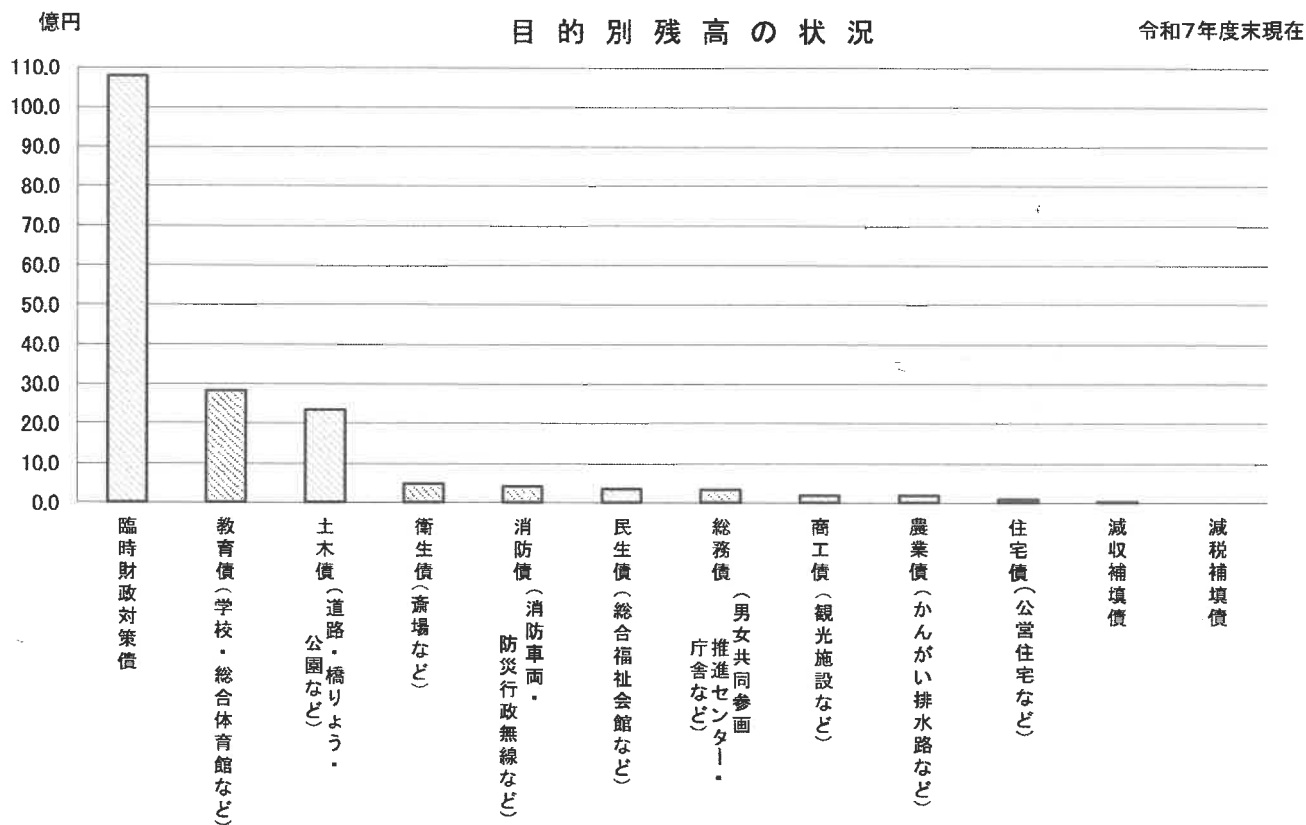
※特例地方債

減税補填債……………景気回復を目的に国の政策により個人市民税の定率減税などが実施され、その減収分の補填をするために借り入れたもの。

臨時財政対策債…本来必要な普通交付税額を、財源不足により国が各自治体に満額配分できないことから、その不足分を国と地方が折半して補填するため、地方負担分として各自治体が借り入れたもの。

減収補填債……………地方税の収入額が、国の地方財政計画に基づき算出される標準的な税収入額を下回ったため、その減収を賄うために借り入れたもの。

☆これらの市債は、返済の際にその全額または一定割合が交付税に上乗せされ、国から交付されます。



令和8年度 予算執行

<一般会計>

【歳入】

(単位：千円)

区 分	予 算 現 額	収 入 済 額	収入率 (%)
1 市 税	10,763,578	3,167,435	29.4
2 地 方 譲 与 税	268,600	0	0.0
3 利 子 割 交 付 金	14,000	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	100,000	0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	190,000	0	0.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	170,000	0	0.0
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,100,000	549,952	26.2
8 環 境 性 能 割 交 付 金	1	0	0.0
9 地 方 特 例 交 付 金	137,000	77,764	56.8
10 地 方 交 付 税	5,460,000	2,801,464	51.3
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,100	0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	5,340	606	11.3
13 使 用 料 及 び 手 数 料	318,552	51,726	16.2
14 国 庫 支 出 金	6,648,170	705,410	10.6
15 県 支 出 金	2,541,122	261,277	10.3
16 財 産 収 入	112,931	11,631	10.3
17 寄 附 金	187,500	9,401	5.0
18 繰 入 金	909,747	0	0.0
19 繰 越 金	1,085,311	2,348,261	216.4
20 諸 収 入	364,709	29,401	8.1
21 市 債	2,387,200	0	0.0
合 計	33,769,861	10,014,328	29.7

<特別会計>

(単位：千円)

会 計 名	予 算 現 額	収 入 済 額	収入率 (%)	支 出 済 額	執行率 (%)	一時借入金残高
国民健康保険事業	7,930,926	1,089,326	13.7	1,406,398	17.7	0
交通災害共済事業	29,194	64,280	220.2	332	1.1	0
介護保険事業	7,508,522	1,847,427	24.6	1,196,271	15.9	0
後期高齢者医療事業	1,588,980	243,048	15.3	160,496	10.1	0

※ 令和8年4月1日から6月30日までの執行状況です。この中には、前年度からの繰越しも含まれています。

状況 ～第1四半期～

【歳出】

(単位：千円)

区	分	予 算 現 額	支 出 済 額	執 行 率 (%)
1 議 会 費		239,357	89,652	37.5
2 総 務 費		3,478,120	582,106	16.7
3 民 生 費		14,083,452	2,927,668	20.8
4 衛 生 費		2,785,424	806,234	28.9
5 労 働 費		32,492	24,683	76.0
6 農 業 費		518,702	61,330	11.8
7 商 工 費		405,335	191,584	47.3
8 土 木 費		4,396,841	449,253	10.2
9 消 防 費		1,365,866	319,526	23.4
10 教 育 費		4,004,595	520,902	13.0
11 公 債 費		2,429,267	0	0.0
12 諸 支 出 金		410	0	0.0
13 予 備 費		30,000	0	0.0
合 計		33,769,861	5,972,938	17.7

【第2四半期以降の主な事業の支出予定】

★総務費… 中心市街地公共施設再編事業、乗合型AIオンデマンド交通運行事業、日本版ライドシェア活用事業、

防犯カメラ設置・設置費補助事業、証明書コンビニ取得促進事業、移住定住促進事業

★民生費… 子ども等多世代の居場所づくり支援事業、朝のこどもの居場所づくり事業、3歳未満児保育料無償化事業、

おうち子育て支援事業、子ども医療費支給事業、さきたま古墳公園「子どもの遊び場」整備事業、

高齢者通いの場への無料移動支援事業、認知症施策関連事業、ねんりんピック埼玉大会剣道交流大会

★衛生費… 5歳児健康診査事業、5歳児健康診査後フォロー事業、妊娠前の健康管理推進事業（プレコンセプションケア）

感染症予防事業、がん検診等推進事業、資源リサイクル地域活動促進事業、資源物収集事業、ごみ収集事業

★農業費… 新規就農・経営継承支援事業、スマート農業等推進事業、農道及び農業用排水路整備事業

環境保全型農業支援事業、田んぼダム事業、県産木材活用促進支援事業

★商工費… 起業家支援事業、店舗併用住宅改修支援事業、住宅改修資金補助事業、観光関連施設運営事業

行田おもてなし観光局による観光プランディング事業、行田古墳フェスティバル開催事業

★土木費… 道路新設改良事業、道路維持補修事業、まちなかウォークアブル推進事業、有償ボランティアによる除草作業助成事業

古代蓮の里リニューアル事業、水城公園しのぶの池の水をぜんぶ抜く！～お掃除大作戦～

★消防費… 消防緊急通信指令センター共同運用事業、災害現場中継システム運用事業、消防団庁舎更新事業、

消防車両更新事業、防災体制整備事業、防災訓練事業

★教育費… 学校再編事業、学校ICT活用推進事業、特色ある教育活動推進プロジェクト、水泳授業委託事業、

英語のできる行田っ子育て成事業、総合体育館柔道場剣道場空調整備事業

埼玉県名
発祥の地
行 田